

地元建設業8社が 龍野北高で出前講座

兵庫建協、同校OB・
OGらが仕事の魅力PR

兵庫県建設業協会（兵庫建協、松田隆会長）は23日、地元建設業の若年者入職促進に向けた「魅力出前講座」を県立龍野北高校（たつの市）で開いた。合同企業説明会を兼ねたもので、兵庫建協姫路支部の会員企業が教室にブースを出展。生徒らは建設業の魅力や仕事のやりがいなど、企業担当者の説明に熱心に耳を傾けた。写真。

魅力出前講座は初めて開催。兵庫建協ら産官学による「兵庫県建設産業人材確保推進連絡協議会」で2022年度、建設系学科のある県立高校を対象に地元建設企業の魅力をPRする合同



同説明会の開催を決定していた。

この日は環境建設工学科の3年生34人が参加。兵庫建協姫路支部から上林建設と大給組、進藤組、ノバック、ハマダ、平錦建設、宮本組、立建設の8社が出展した。

生徒らは趣旨説明を受けた後、それぞれが気になる3社の教室ブースを訪問し25分ずつ説明を受けた。出

展企業で働く同校のOB・OGも担当者として参加し、後輩らに建設業の仕事内容や地域に果たす社会貢献などについて解説した。

環境建設工学科長の寺井信夫教諭は「合同説明会ということ、それぞれの地元企業が持つ特色が分かりやすく、生徒らも好反応で業界の魅力が伝わったと思う。開催に手応えを感じている」と話した。参加者の中には、進学希望だったが「技術者として早く社会に出たいので就職したい」と進路変更を希望する生徒も現れたという。

今後、兵庫建協は尼崎工業高校（尼崎市）、兵庫工業高校（神戸市兵庫区）、東播工業高校（加古川市）、豊岡総合高校（豊岡市）の県立高校4校で魅力出前講座を開催していく予定。

